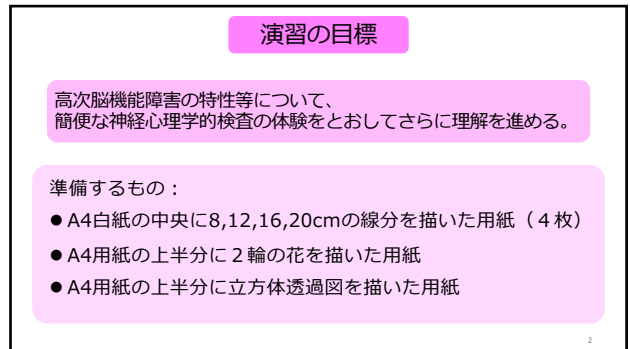
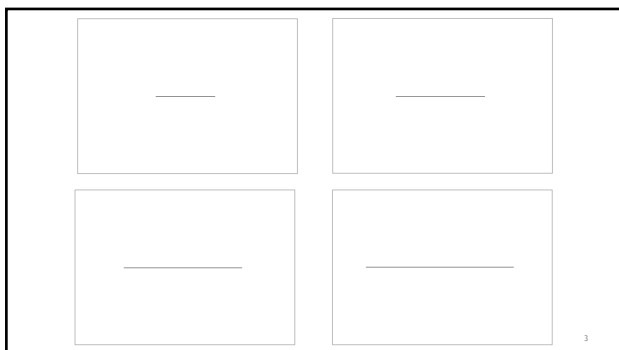


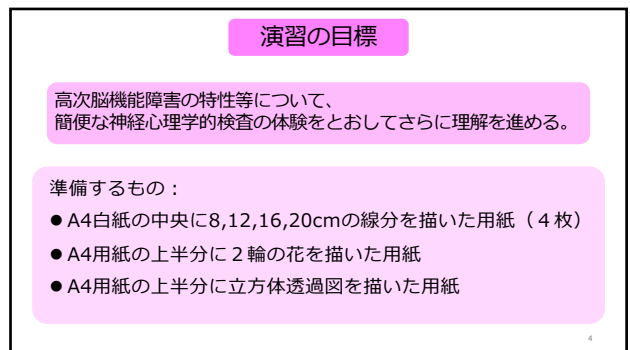
1



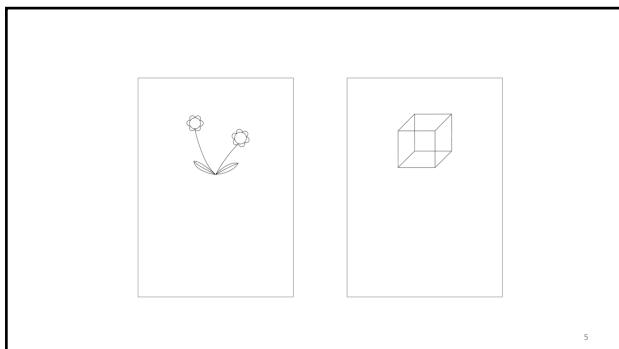
2



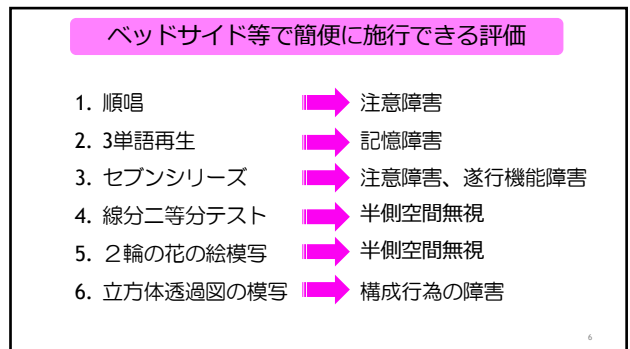
3



4



5



6

順唱 **指示**

これから私が言う数字を、はい、と言ったら同じように繰り返してください。
私が「1, 2 はい」と言ったらあなたが「1, 2」と言います。
「では始めます。2, 4 はい」

- 正答したら、桁数を一つ増やす。
- 誤答の場合は同桁数の他数字を実施。
- 各桁数で2題とも間違えたら中止し、通過した桁数を記録する。
- 数字は1秒に1個のスピードで読み上げる。

7

Blank box for observation.

8

順唱

2桁 2-4 5-8
3桁 6-8-2 4-1-5
4桁 3-5-2-9 4-9-6-8
5桁 1-5-2-8-6 6-1-8-4-3
6桁 5-3-9-4-1-8 7-2-4-8-5-6
7桁 8-1-2-9-3-6-5 4-7-3-9-1-2-8
8桁 5-8-1-9-2-6-4-7 3-8-2-9-5-1-7-4
9桁 2-7-5-8-6-2-5-8-4 7-1-3-9-4-2-5-6-8

桁数が4以下の場合、注意障害が疑われる

9

3単語再生 **指示**

「これから私が言う3つの言葉を、よく聞いて覚えてください」
「りんご・犬・自動車（1秒に1単語のスピード）」
「さて何と言いましたか？」

- 正答の数を記録する。
その後3単語とも覚えるまで繰り返す（最高6回）
- この後次の**セブンシリーズを実施後**、
「では先ほど覚えてもらった言葉をもう一度思い出して言ってください」
- 自発的に回答がなかった時、次のヒントを与える。
1. 果物 2. 動物 3. 乗り物

10

セブンシリーズ **指示**

「100から7を順番に引いていってください。100引く7は？」

- 間違えた場合は、その答えから7を引いて計算を続ける。
- 5回繰り返し、何回正解したか記録する。

正答が3回以下の場合
作業記憶の障害（遂行機能障害）が疑われる。

11

Blank box for observation.

12

3単語再生

直後再生が3,あるいは2以下であっても
繰り返しのよって3単語再生可能となったが、
セブンシリーズ後の再生が2以下の場合記憶障害が疑われる。
直後再生が2以下の場合、注意障害や失語症の可能性を考える。

13

13

線分二等分試験

指示

(線分を描いた用紙を被験者の正面に置き)
「この線の真ん中と思うところに印をつけてください」

14

14

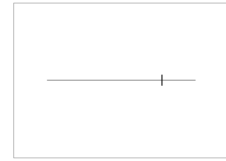


15

15

線分二等分試験

- 各線分での偏位率を測定する。
偏位率 = 真の midpoint からの偏位量 ÷ 線分の半分長さ



左半側空間無視の方の結果

偏位率 > 10% を異常とする (Fukatsu 1990)

16

16

2輪の花の絵

指示

(2輪の花の絵が描かれた用紙を被験者の正面に置き)
「この絵をまねして下に書いてください」

17

17



18

18

2輪の花の絵



左半側空間無視の方の結果；左側の花弁を書き落としている

19

19

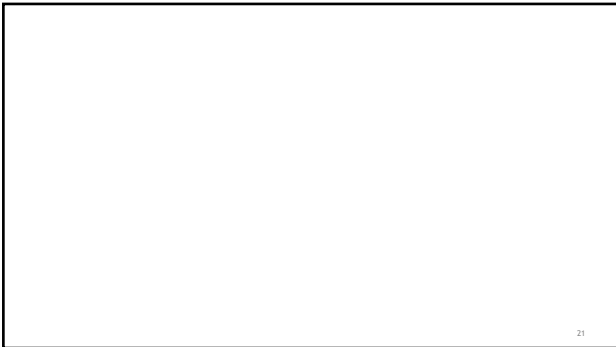
立方体透過図

指示

(立方体透過図が描かれた用紙を被験者の正面に置き)
「この図形をまねして下にかいてください」

20

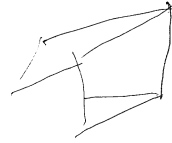
20



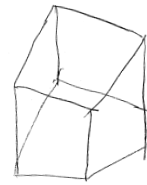
21

21

立方体透過図



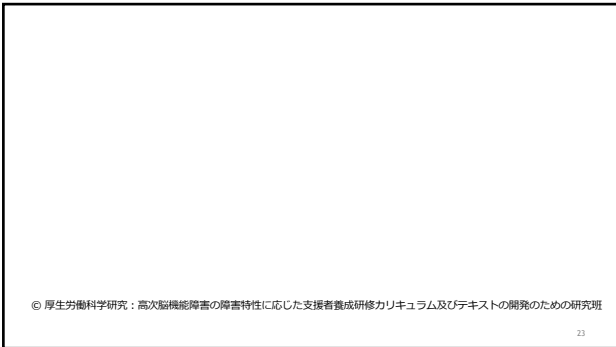
左半側空間無視の方の結果



構成行為の障害の方の結果

22

22



23

23